

平成28年(2016年)3月期 決算報告 (連結ベース)

2016年5月13日

東芝機械株式会社

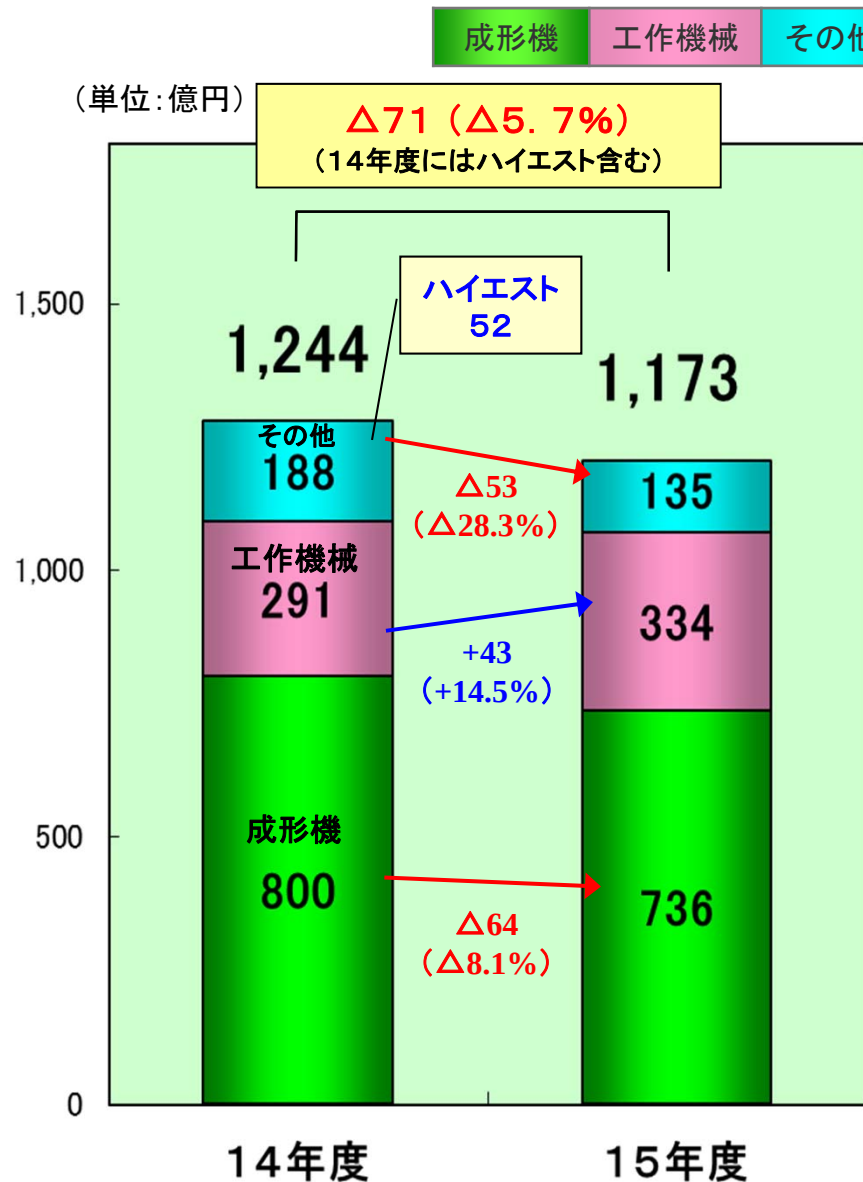
業績サマリー

2

(単位:億円)

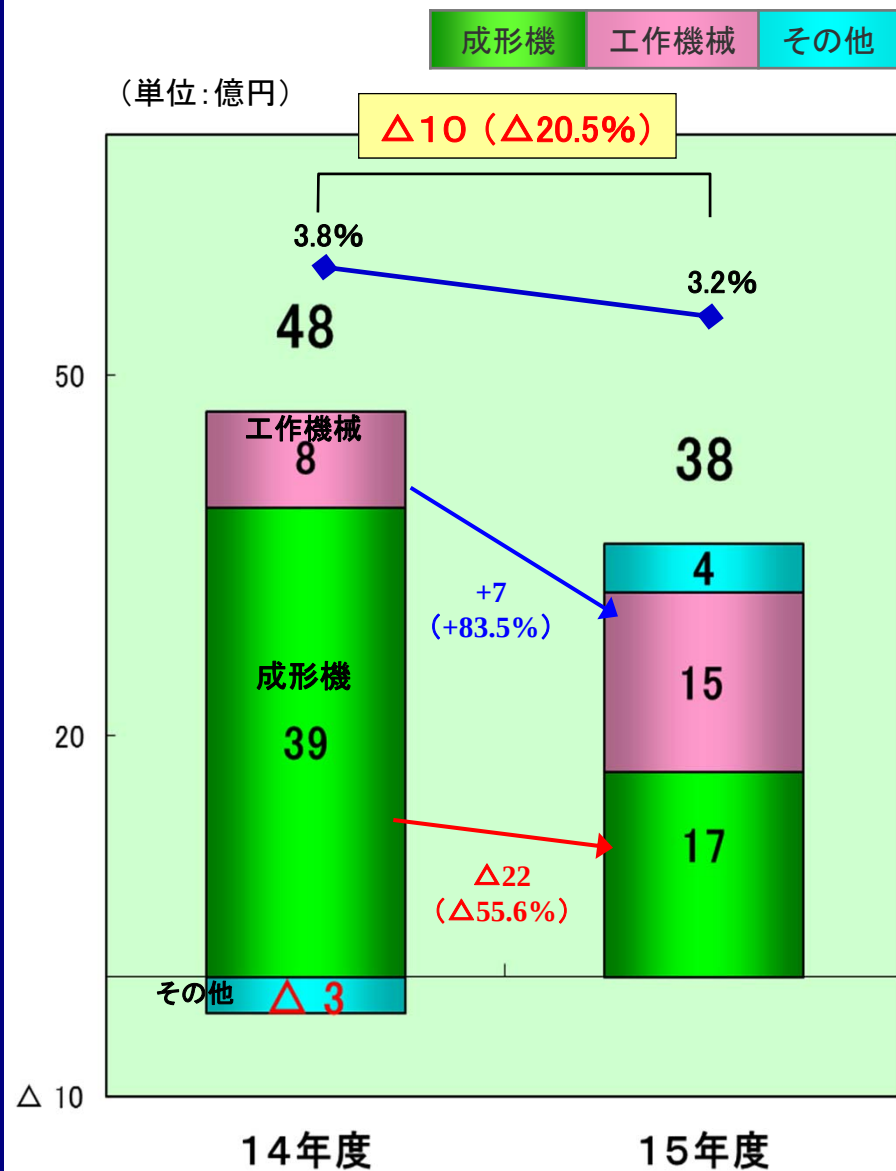
	2015年度 (H27年度)	2014年度 (H26年度)	前期増減	2015年度予想 (2015/10/9公表値)	公表増減
売上高	1,173	1,244	△ 71	1,180	△ 7
営業利益	38 (3.2%)	48 (3.8%)	△ 10 (△0.6%)	32 (2.7%)	6 (+0.5%)
経常利益	50 (4.2%)	65 (5.3%)	△ 15 (△1.1%)	45 (3.8%)	5 (+0.4%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	48 (4.1%)	43 (3.5%)	5 (+0.6%)	47 (4.0%)	1 (+0.1%)
受注高	1,200	1,248	△ 48	1,220	△ 20
為替レート(USD)	120 円	120 円		120 円	

売上高(セグメント)



営業利益(セグメント)

3



(成形機)セグメント業績

4

(単位:億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2015年度 (H27年度)	2014年度 (H26年度)	増減額	増減率
売上高	736	800	△ 64	△ 8.1%
営業利益	17	39	△ 22	△ 55.6%
利益率	2.3%	4.8%		

2015年度 業績要因分析

ポジティブ・ファクター

- 射出成形機は、国内・北米・インド向けが好調
- ダイカストマシンは、国内が堅調
- 押出成形機は、中国の二次電池向けが需要増
- 射出成形機の下期は原価低減により利益率向上

ネガティブ・ファクター

- 射出成形機、ダイカストマシンは、中国・東南アジアの市況悪化
- タイ工場の費用先行
- 押出成形機は、海外における低採算案件増加

(工作機械)セグメント業績

5

(単位:億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2015年度 (H27年度)	2014年度 (H26年度)	増減額	増減率
売上高	334	291	43	14.5%
営業利益	15	8	7	83.5%
利益率	4.6%	2.9%		

2015年度 業績要因分析

ポジティブ・ファクター

- 国内(機械部品加工)、インド(エネルギー関連)向けは好調
- 中国(自動車・金型関連)向けは堅調
- 国内、韓国、台湾でスマートフォン関連好調

ネガティブ・ファクター

- 北米のエネルギー及び建機関連停滞

(その他)セグメント業績

6

(単位:億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2015年度 (H27年度)	2014年度 (H26年度)	増減額	増減率
売上高	135	188	△ 53	△ 28.3%
営業利益	4	△ 3	7	—
利益率	3.0%	△ 1.4%		

2015年度 業績要因分析

ポジティブ・ファクター

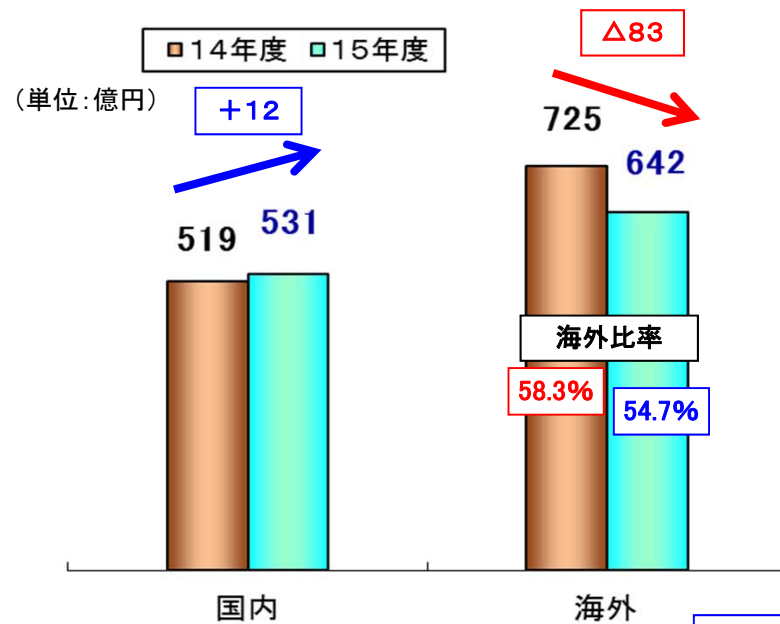
- 産業用ロボットは、国内・東アジア向けが堅調
- 不採算事業の譲渡

ネガティブ・ファクター

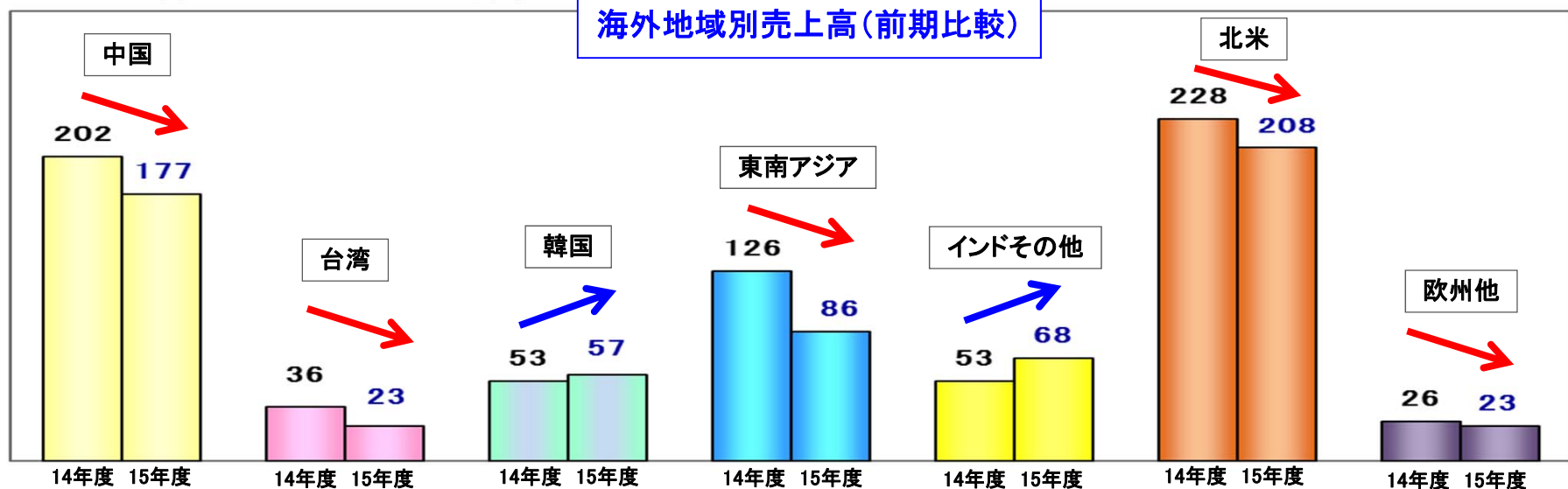
- 油圧機器事業の譲渡による売上規模減少

国内・海外売上高(前期比較)

7



- **国内** : 射出成形機、ダイカストマシン、工作機械増加
- **中国** : 射出成形機、ダイカストマシン減少
- **東南アジア** : 射出成形機、ダイカストマシン減少
- **北米** : ダイカストマシンの設備投資一巡



決算概要(2015年度総括)

8

1. セグメントの総括

成形機セグメント : 中国・東南アジアで売上・利益減少、中国受注増加
工作機械セグメント : 国内・インドは好調、中国は堅調
その他 : 国内・東アジアで堅調

2. 当社で対処した施策

・原価低減活動 前年度比 +6億円

3. 結果

全社 : 減収減益
成形機セグメント : 減収減益
工作機械セグメント : 増収増益
その他 : 減収増益

	14年度	15年度
売上高営業利益率	3.8%	3.2%
※ ROE (当期純利益/自己資本)	4.8%	5.1%
※ ROA (経常利益/総資本)	4.2%	3.1%
損益分岐点比率	84.6%	87.7%

※ 期首・期末の平均を使用

貸借対照表

9

(単位:億円)

	2015年度末	2014年度末	増 減
現金同等物	429	402	27
売上債権	434	438	△ 4
棚卸資産	295	318	△ 23
有形・無形固定資産	224	245	△ 21
その他資産	201	217	△ 16
資産計	1,583	1,620	△ 37
買入債務	251	281	△ 30
借入金(短期・長期)	169	172	△ 3
その他負債	230	230	0
負債計	650	683	△ 33
株主資本	896	864	32
その他純資産	37	73	△ 36
純資産計	933	937	△ 4
負債・純資産計	1,583	1,620	△ 37

貸借対照表概要

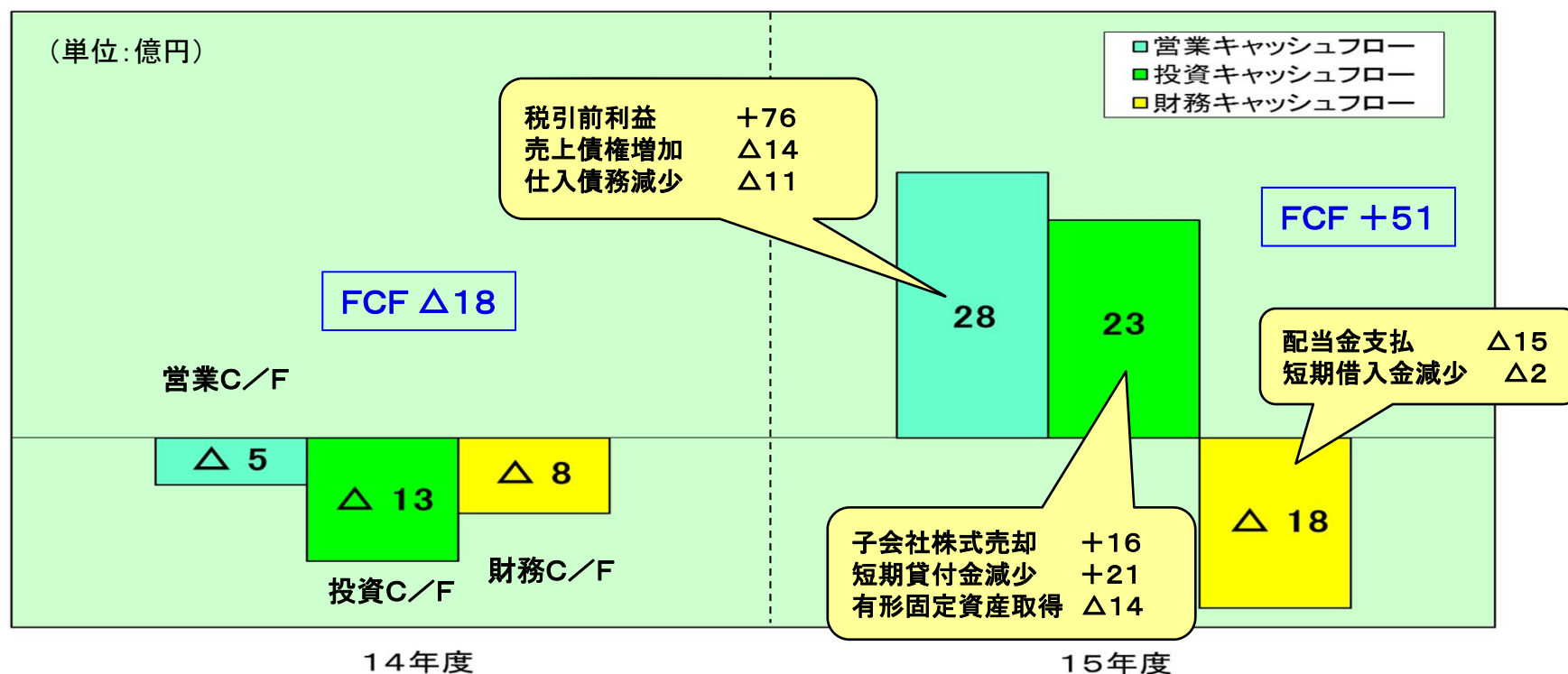
- 資産(前期比 37億円減少)
棚卸資産 23億円減少
- 負債(前期比 33億円減少)
買入債務 30億円減少
- 純資産(前期比 4億円減少)
その他の包括利益累計額 36億円減少

	15/3月末	16/3月末
自己資本比率	57.8%	59.0%
D/E比率	18.4%	18.1%
総資本回転率 ※	0.80 回転	0.73 回転

※ 期首・期末の平均を使用

キャッシュ・フロー計算書

10



	14年度	15年度
現金及び同等物 期首残高	413	402
営業活動によるC/F	$\Delta 5$	28
投資活動によるC/F	$\Delta 13$	23
財務活動によるC/F	$\Delta 8$	$\Delta 18$
計	$\Delta 26$	33
換算差額	14	$\Delta 5$
現金及び同等物 期末残高	402	429

平成29年(2017年)3月期

業績予想 (連結ベース)

配当予想

1. 当社を取り巻く外部環境

成形機セグメント

射出成形機 : 中国・東南アジアの停滞
ダイカストマシン : 東南アジアの停滞
押出成形機 : 海外の低採算案件の増加

工作機械セグメント

: 国内の助成金・優遇税制縮小
北米の資源、建機関連の停滞継続

ネガティブ・ファクター

ポジティブ・ファクター

自動車・光学の伸長
自動車軽量化に対する需要増
大規模ラインの需要増

自動車・航空機の伸長

為替リスク

: 円高傾向の継続

2. 当社概要

(1) 当社施策

事業収益性向上 : 総原価の低減・収益確保、最適調達網の構築
経営体質強化 : 国内外工場の効率化、拠点の最適化
ブランド力強化 : 市場ニーズにあった新商品の創出

(2) 当社業績見込(前期比)

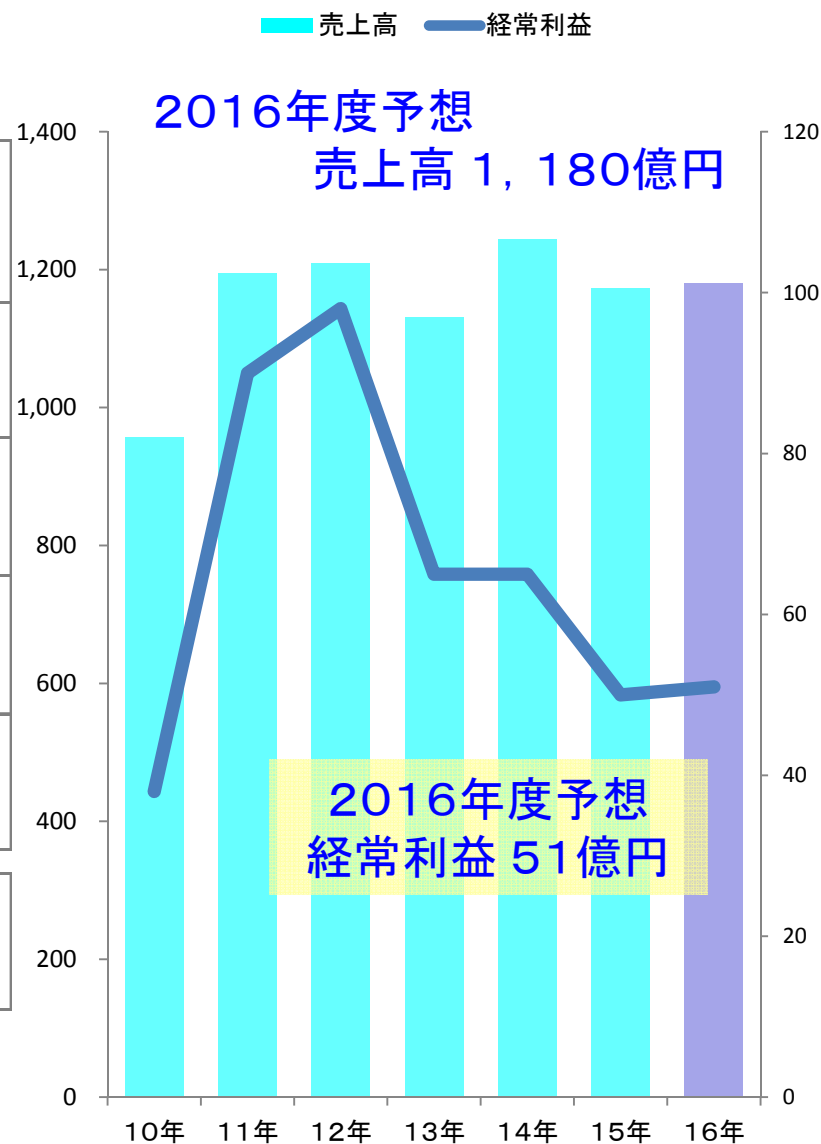
売上高 : 成形機セグメントは増収、工作機械セグメントは減収、その他は横ばい
営業利益 : 伸長を見込む

2016年度 業績サマリー

13

(単位: 億円)

	2016年度 予 想	2015年度 実 績	増 減
売 上 高	1,180	1,173	7
営 業 利 益	46 (3.9%)	38 (3.2%)	8 (+0.7%)
経 常 利 益	51 (4.3%)	50 (4.2%)	1 (+0.1%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	34 (2.9%)	48 (4.1%)	△ 14 (△1.2%)
受 注 高	1,250	1,200	50
為替レート(USD)	108 円	120 円	



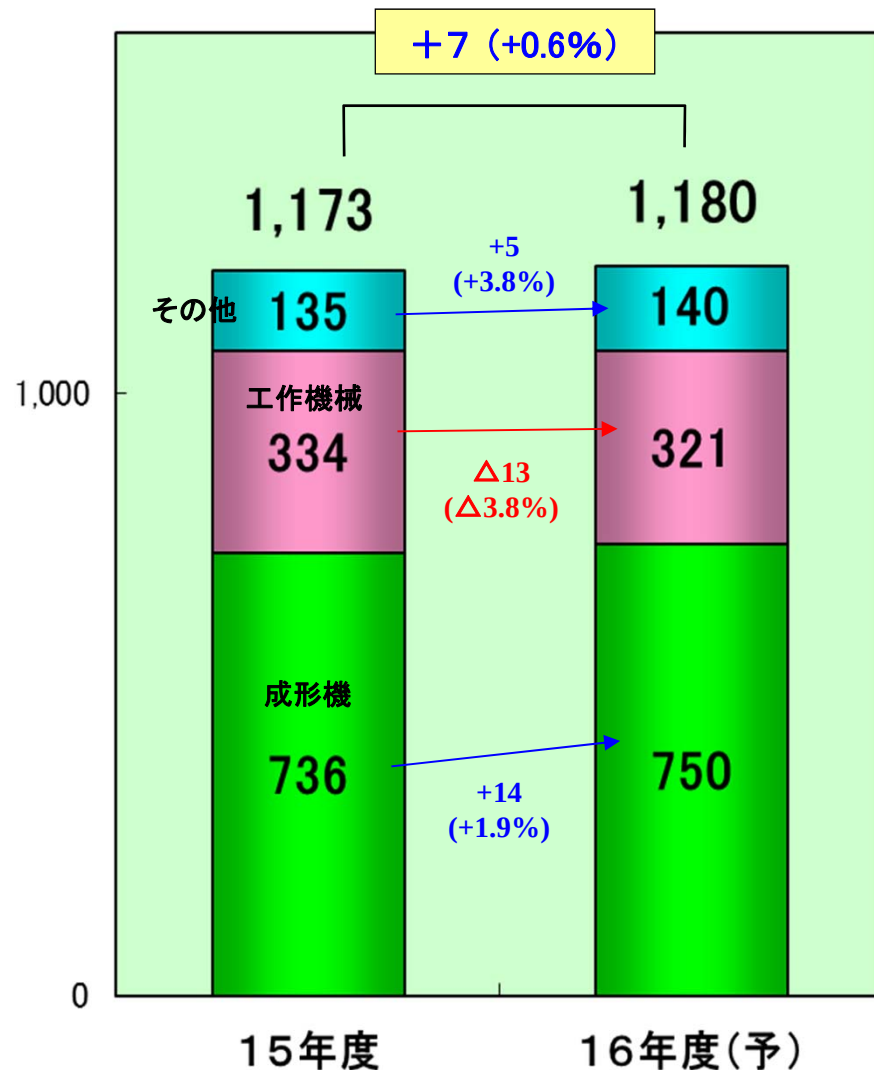
売上高(セグメント)

営業利益(セグメント)

14

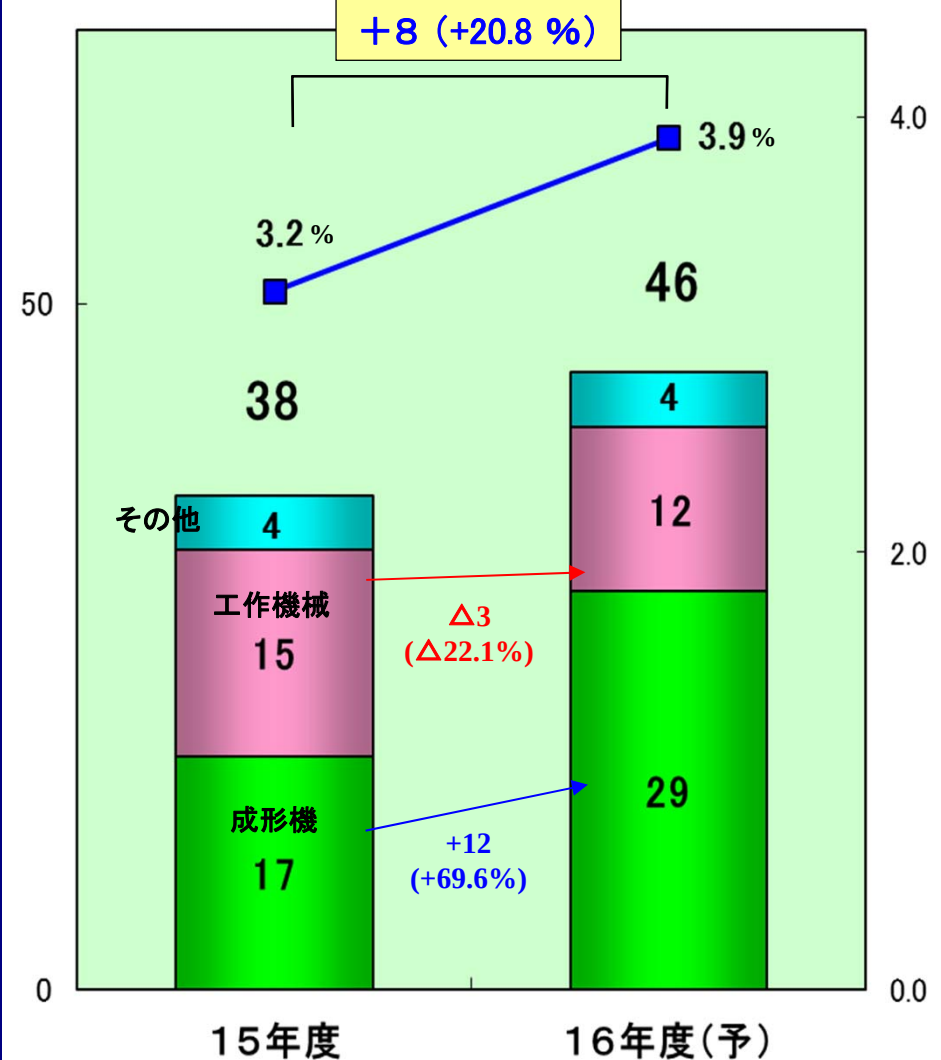
(単位:億円)

成形機 工作機械 その他



(単位:億円)

成形機 工作機械 その他



(成形機)セグメント業績予想

15

(単位:億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2016年度 (H28年度)	2015年度 (H27年度)	増減額	増減率
売上高	750	736	14	1.9%
営業利益	29	17	12	69.6%
利益率	3.9%	2.3%		

2016年度 業績要因分析

ポジティブ・ファクター

- 射出成形機の生産効率向上及び円高による調達コスト減少
- 押出成形機の大規模ライン需要増

ネガティブ・ファクター

- 射出成形機、ダイカストマシンは中国、東南アジアの停滞
- 海外における低採算案件増加

(工作機械)セグメント業績予想

16

(単位:億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2016年度 (H28年度)	2015年度 (H27年度)	増減額	増減率
売上高	321	334	△ 13	△ 3.8%
営業利益	12	15	△ 3	△ 22.1%
利益率	3.7%	4.6%		

2016年度 業績要因分析

ポジティブ・ファクター

- 北米の自動車、航空機関連伸長
- スマートフォン関連好調

ネガティブ・ファクター

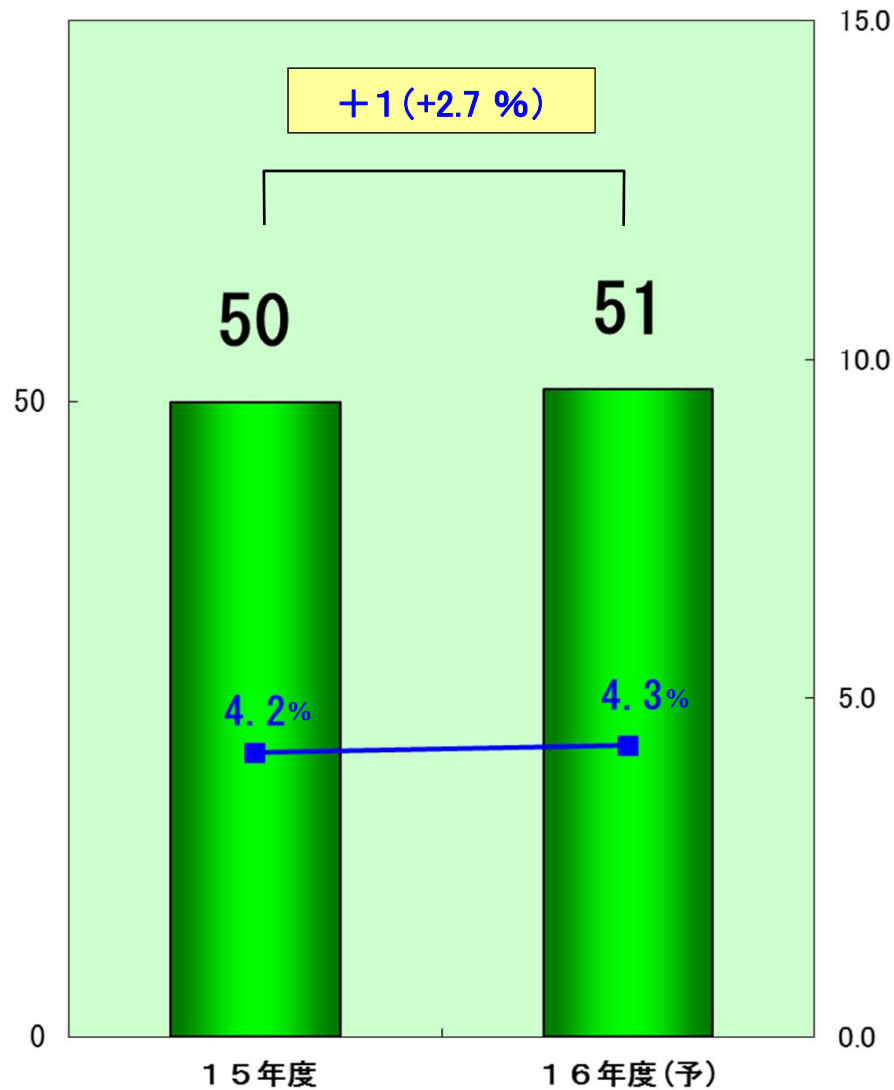
- 国内の助成金・優遇税制縮小
- 北米の資源、建機関連の停滞継続

経常利益

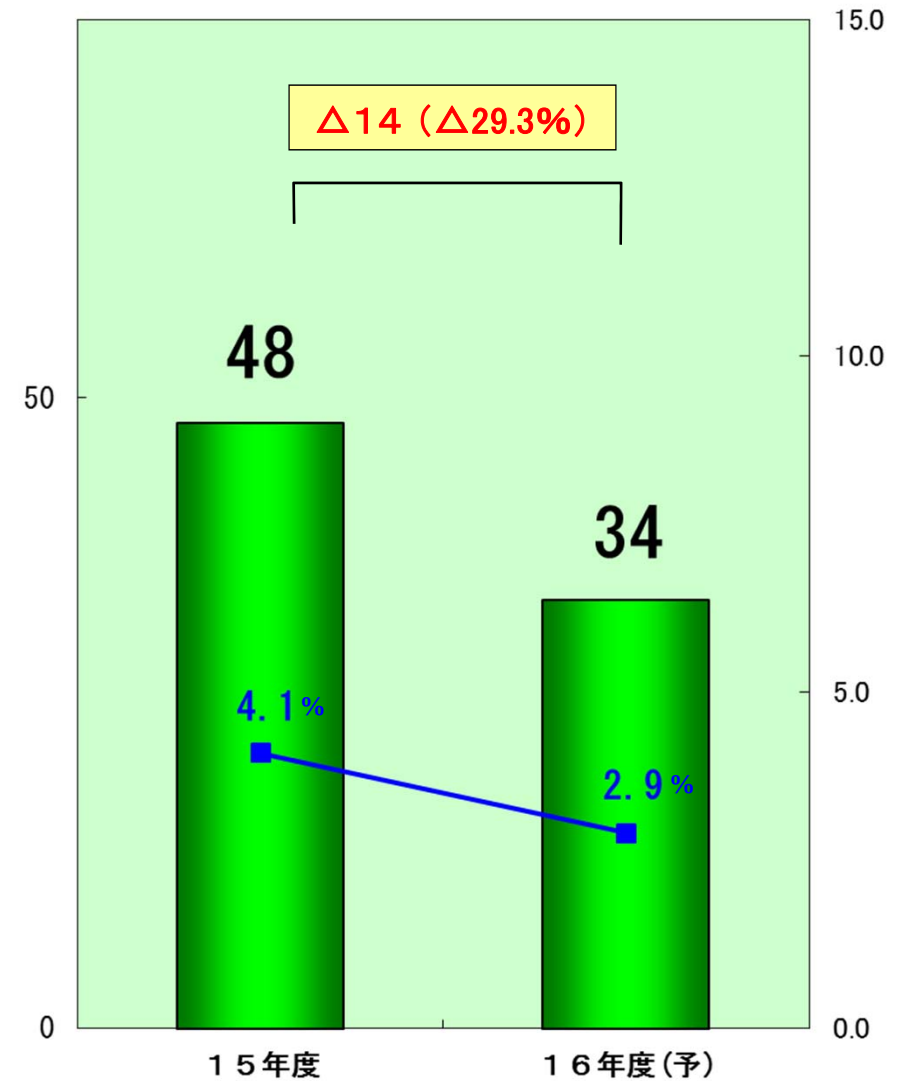
親会社株主に帰属する
当期純利益

17

(単位:億円)



(単位:億円)



配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、財務体質を強化しつつ、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

(配当の状況)

	第2四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2015年3月期	4 円 00 銭	4 円 00 銭	8 円 00 銭	28. 2%
2016年3月期	6 円 00 銭	6 円 00 銭	12 円 00 銭	38. 0%
2017年3月期 (予想)	6 円 00 銭	6 円 00 銭	12 円 00 銭	53. 7%

以 上

本資料に記載している将来の当社業績に関する見通しは、現時点での把握可能な情報に基づいて作成したものです。

実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

東芝機械株式会社 総務部

TEL : 055-926-5141

FAX : 055-925-6501

URL : <http://www.toshiba-machine.co.jp>